

第 1 回春日井市住生活基本計画推進協議会での主なご意見

■計画骨子案の検討に係る主なご意見の抽出（計画骨子案の視点別に整理）

住 ま い	■住まい全体 ・キーワードが暮らし方とかによっており、<u>住宅に関するものが少ない</u>気がする。 ・ハードとしての住宅をより良くするのはよいことだと思うが、それには当然コストがかかる。 ・高性能な家（耐震・断熱など）は健康で住みやすい家につながるため、補助を行うことで積極的に市が先導してはどうか。 ・住宅では、土間や縁側のない家が多く玄関を上げる必要があるため<u>集えないし、人を呼びにくい</u>。<u>外で集う場所の位置づけ</u>も必要ではないか。
	■住まいの選択 ・「住宅を選べる」に入るが、<u>春日井というまちの中にライフステージに応じた住みこなし方ができるオプションがあることが大事</u>。 ・居住誘導外の住み方をどうするか。狭い住宅を建てるより、<u>土地利用の景観、環境を考慮した田園住宅のような質の高い住宅を提供することは郊外の春日井市ならではの</u>。 ・お金があればゆったりできるが、そうでない人もいる。<u>住まいの質・選択性・包摂性</u>が大事か。
	■空き家・住宅の流通 ・空き家を売却する人が少ないが、いらなくなったら手放す、魅力があるから春日井市に入るといった<u>住宅の「流動性」「循環性」</u>があってはどうか。流通を簡単に、<u>まちをリノベーションする</u>意識があってもよい。 ・今の資料のキーワードは暮らしがメインになっている。団地開発から 40～50 年で世代交代のピークを迎え、それが今到来している。<u>住み続けられ、かつ住み替えていく。暮らし方を支える住宅のストック、住環境、社会環境</u>が必要ではないか。 ・<u>空き家の活用、住宅の流通にこのような観点を</u>入れてはどうか。
	■マンション ・<u>高齢化していくマンション管理の調査も必要</u>である。
	■環境 ・<u>環境問題への適応</u>という視点が必要ではないか。
	■住教育 ・<u>ライフステージや法律が、年を重ねたり時代の変化によって、変わるということを皆に分かってもらうことも大事</u>。

生活	■高齢者・セーフティネット層 ・<u>孤立する単身高齢者・要配慮者などの福祉の視点をクローズアップ</u>しているのは良い。<u>認知症高齢者</u>に関する文言も追加してほしい。単にグループホームに入るだけではなく、<u>認知症になっても住み続けられるまちづくり</u>が必要。 ・住み続けられるためにも<u>終の住処の保障</u>もどうか。 ・福祉と連携した終の住処なども含め、「<u>住宅を選べる</u>」部分に具体的なイメージを膨らませることが大事。 ・対象者別のキーワードになっているが、複数の問題を抱える世帯を地域でどうするのか。「<u>地域共生</u>」は必要ではないか。 ■新しい価値観 ・住生活基本計画は今後 10 年間の計画だがその間に世代交代が起き、<u>一つの場所に定住しない層が増えてくる</u>。 ・最近は<u>二地域居住、移住</u>という言葉が出てきている。暮らしやすさ・幸せを感じることと居住地を 1 ヶ所にするには必ずしも必要になることではないと思う。<u>春日井とどこかやどこかと春日井で住むといった人を受け入れるまちや仕掛け</u>が必要になってくるのではないか。 ■子育て ・<u>ワークライフバランスの支援</u>もどうか。<u>母子家庭では公共交通に近いところでの勤務や子どものケアができる場所、安価な住宅</u>が必要。
まち・地域・住環境	■屋外環境・公園 ・公園の利用実態が気になる。子育て世帯を見かけることも減り、高齢者も木陰がないと利用しない。デイサービスの散歩でも、突然の雨や猛暑に対して退避できるスペースがないため利用しない。<u>公園という空間はあるが使えない</u>。 ・<u>公共交通がないから・炎天下で涼めないから・車がないから・住宅から出られない人がいる</u>。 ■災害リスク・立地 ・歩いて楽しい安全なまちだけでなく、<u>災害リスクの高い場所に建てられない規制</u>も必要ではないか。 ・<u>市街化調整区域にある団地は建替えができず周辺には店舗がない</u>。都市マスでは一般住宅ゾーンに指定してあるが、立適も含めた整合性は必要である。 ■高蔵寺 NT ・高蔵寺 NT では、戸建て住宅の空き家が深刻化。また、UR のストックが大量にあり、今後、<u>建替えが進んでいくと思うが、新しい家賃に対応できない層もいるだろう</u>。そういった層を助けることも検討が必要。
その他	■計画の視点 ・豊田市の住生活基本計画を見たが、「暮らし」「住宅」「まちづくり」からあるべき姿が記載されていた。<u>なるべくシンプルにして、実効性のある計画にしてほしい</u>。

■その他

○市民ニーズの拾い方 ・アンケートは一定水準以上の暮らしができている方が回答する傾向にある。それ以前の困窮層のニーズは把握しづらいため、社協等で居住支援にあたっている方に困窮層のニーズをヒアリングしてもらえるとありがたい。
--